

お薬について

Q：納豆やグレープフルーツジュース、サプリメントが良くないと聞いたことがあります。食べないほうが良いのでしょうか？



A：食品やサプリメントの中には、お薬の効果を強めたり、弱めたりするものがあります。ただし、全てのお薬との相性が良くないわけではありません。かかりつけの薬局・薬剤師にご相談ください。

Q：血圧が低いのに血圧を下げる薬を飲んで大丈夫ですか？



A：血圧を下げる薬の中には、心臓の負担を軽くしたり、心臓の機能を改善したりする目的で使用しているものもありますので、ご自分の判断で中断しないでください。めまいや立ちくらみなどの症状がある場合は、薬が効きすぎている可能性がありますので、主治医にご相談ください。

Q：お薬を飲んでも効果を感じませんが？



A：お薬は症状を改善するもの以外にも、病気の発症や進行を予防する目的で使用するものもあります。痛み止めや解熱剤のようにわかりやすく効果を感じることは難しいかもしれませんが、服用を継続することが重要です。

Q：お薬の粒が大きく飲みにくいと感じています。また、お薬の種類が多く、間違えそうで不安です。どのように工夫すれば良いですか？



A：飲みやすくするために様々な方法があります。お薬の内容によって利用可能な方法が異なりますので、かかりつけの薬局・薬剤師にご相談ください。

Q：受診間隔を伸ばしてほしいので、お薬をもっと長期間処方してもらうことは可能ですか？



A：病気の状態の確認や、お薬の副作用の発見のためには、定期的な受診と検査が必要です。主治医にご相談ください。

Q：コレステロールを下げる薬を飲んでいますが、LDL（悪玉）コレステロールが基準値よりもだいぶ低いのですが、お薬を続ける必要はありますか？



A：印刷されている基準値は一例であり、患者さんの状態によりLDLコレステロールの目標値が異なります。脳卒中や心臓病を予防するための重要なお薬ですので、ご自身で判断せず、主治医にご相談ください。

※その他、東北大学病院薬剤部のページもご覧ください。

<http://www.pharm.hosp.tohoku.ac.jp/Patient/okusuri.html>